

古民家カフェで恩返し

被災の障害者施設が開設

広島市

改修された築100年超の古民家を借りてオープンした。店の名前は「テ・ミール」（安佐北区）。必要とされるなら「やってみる」と語呂を合わせた。運営するのは社会福祉法人やぎ（菅井直也理事長）。古民家から少し離れた所にある就労継続支援B型事業所「八木園」の利用者・職員の一部が出向いて切り盛りしている。



コーヒーを出す大野さん

「1年前から接客の練習を重ねてきました」と話すのは知的障

害のある大野マサコさん(38)。ミシンで衣類を補修するのが得意で、八木園に通い20年になるベテランだ。今はコーヒー(300円)、玄米茶(100円)など注文を受けて運ぶ。

八木園は2014年8月の豪雨に



カフェの外観

害のある大野マサコさん(38)。ミシンで衣類を補修するのが得意で、八木園に通い20年になるベテランだ。今はコーヒー(300円)、玄米茶(100円)など注文を受けて運ぶ。

「ここは高齢化率の高い地域で、日中通える場が必要とされている」と語る。4年前に受け入れてもらった恩返しの意味も大きいという。

八木園は2014年8月の豪雨に

害のある大野マサコさん(38)。ミシンで衣類を補修するのが得意で、八木園に通い20年になるベテランだ。今はコーヒー(300円)、玄米茶(100円)など注文を受けて運ぶ。

八木園の工賃は現在1日400円。カフェで働く人はこれを800円に増やすのが目標という。施設長の春木強さんは「ここは高齢化率の高い地域で、日中通える場が必要とされている」と語る。4年前に受け入れてもらった恩返しの意味も大きいという。

八木園は2014年8月の豪雨に

八木園は2014年8月の豪雨に

八木園は2014年8月の豪雨に